

平成 23 年 2 月 15 日

第 120 回 社会情報学部研究会
2010 年度日本社会情報学会（JSIS）北海道地区研究会
開催のお知らせ

社会情報学部研究委員会
日本社会情報学会（JSIS）北海道地区

下記の要領で、本年度第 5 回目の社会情報学部研究会を日本社会情報学会（JSIS）北海道地区研究会との共催で開催いたします。どなたでもご参加できます。是非ともご参加下さい。

記

日時：2011 年 3 月 4 日（金）13:30-15:30

場所：C 館 4 階会議室（C-410）

社会と ICT

【プログラム】

13:30-14:30 第 1 発表「SAPICA を利用した札幌地域ポイントの今」

吉地望（旭川大学経済学部准教授・北海道大学客員准教授（トポロジー理工学教育研究センター））

[要旨] 地域ポイントとは、特定の地域やコミュニティでしか使用できないお金のようなものである。お金のようなものという表現は、ポイントには利息がつかないことからきている。つまり地域ポイントは地域通貨に他ならない。馴染みが薄いとを感じるむきもあるが、実は企業グループが積極的導入している企業ポイントも構造的に全く同じものであり、われわれの生活に溶け込んだ仕組みといえる。

札幌市は昨年末より SAPICA の一部のデータ領域を口座として利用する IC 型の地域ポイント（地域通貨）導入実験を実施している。この地域ポイントが、札幌市の抱えている地域課題（地域コミュニティの再生（福祉、介護、自然保護）や地域経済の活性化）に対してどのような貢献が可能かについて、地域通貨の発展の歴史の中に位置づけてお話したい。

14:30-15:30 第 2 発表「安全なソフトウェアシステムを構築するための枠組み」

三浦 克宜（北海道大学情報基盤センター）

[要旨] 近年、教育や医療・福祉などの多様な分野で、高品質なサービスを提供するために、意欲的に ICT 環境が導入され、様々なソフトウェアシステムが構築されている。このとき、個人情報やデータの改竄などの危険性を含まないように、安全なソフトウェアシステムを構築しなければならない。しかしながら、多くの場合、それは複雑かつ大規模になるため、安全なソフトウェアシステムを容易に構築することが難しい。そこで、我々は、安全なソフトウェアシステムを構築するための概念的な枠組みを提案する。その枠組みは、安全性に関して他の部品と独立である、安全な部品を積み重ねることで、全体として安全なソフトウェアシステムを構築する。

以上